

農産物直売所等の衛生管理向上支援

～ モデル直売所グループへのHACCPの考え方を取り入れた衛生管理導入支援 ～

対象：ステップアップ志向グループ（2モデルグループ）

1 活動の背景

6次産業化や農産物の高付加価値化を志向する地域や農業者に、対象と目標に応じた方法で支援し、地域活性化をめざす。また、6次産業化や農産物の直売を実践している農業者が安全で安心できる物を製造したり販売するため、衛生管理のレベルを高めるよう支援する。

2 活動の経過

令和2～4年度
加工食品製造のHACCP導入支援



空知では農産物直売所の
HACCP導入支援は初めて

2モデルグループを選定

選定のポイント

- ・起業活動リストの活用
- ・加工食品のHACCP導入グループのメンバー

(ア)直売所の現状調査

管内4カ所調査



陳列状況は衛生的に管理されていたが、一部改善が必要なところもあり
衛生管理推進の必要性を確認した

(イ)保健所担当者への推進方法の相談

岩見沢エリアと滝川エリアHACCP担当者と打合せ

- ①直売所のHACCPに関する届出はまだわずかな状況である。
- ②義務化については営業形態や販売内容によって異なる。
- ③基準を超えた残留農薬や健康被害のある山菜や植物は義務化の有無に関わらず全ての直売所で販売禁止。
- ④食品を販売する直売所は義務化の有無にかかわらず、衛生管理に配慮し、食品事故を未然に防いでいただきたい。



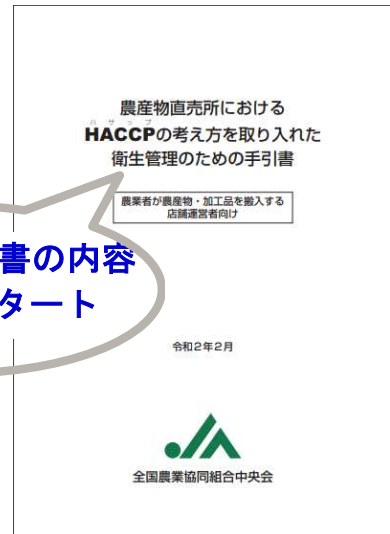
厚生労働省が監修した「農産物直売所におけるHACCPの考え方を取り入れた衛生管理のための手引書」に基づき推進する

(ウ)モデル直売所への支援

食品加工のHACCP導入経験があるメンバーが所属するグループをモデル直売所として選定した



浦臼町の直売グループは全員の衛生や安全管理に対する意識が高く、リーダーはHACCPも独自に勉強をしたが、何をどうしたら良いのか具体的な方法まではわからない状況だった。



まずは手引き書の内容の理解からスタート

3 成果の具体的内容

手引き書の利用により、対象者は直売所の衛生管理の重要性と手法が理解できた。衛生管理計画は対象の直売所に合わせた内容としたため、実効性のある信頼性の高い物ができた。

どちらの直売所からも「お客様に安心してもらえる証明が出来た事が一番良かった」という反応だった。

内容を丁寧に検討し、実効性のある衛生計画ができた



一般衛生管理計画		作成日	4年	11月	11日
一般衛生管理のポイント					
1	商品の受入・陳列	いつ	受入・陳列時	その他	()
		どのように	農産物の受入・陳列時に非食用の農産物が混入していないか、虫・カビが付着していないか、腐れ・傷み・異物の混入がないか、包装の汚れ・表示ラベルの判がれがないかを目視で確認する。		
		問題があった時	陳列中の農産物に問題があった場合は、販売員は「商品引き下げ表」に問題点を記入して商品とともに出荷者に戻す。		
2	施設・設備の衛生管理	いつ	開店前	開店後	開店後
		どのように	陳列する販売台・棚は清潔に保ち、汚れているコンテナ等は出荷者に報告し、洗浄してもらう。開店時には床、陳列棚その他の汚れた部分を十分な水と洗剤を使って洗浄する。		
		問題があった時	施設・設備に合った清掃・洗浄手順で再度行う。		
		いつ	開店前	その他	()

準備完了

岩見沢市のモデル直売所は研修会を企画したが、新型コロナウイルスの感染が拡大し、集合研修ができなかったため、リーダーに内容を説明し、衛生管理計画と記録様式を作成した。

4 今後の課題と対応

HACCP導入支援や衛生管理向上支援は食品加工のHACCPも同様、引き続き継続推進する。